

2024年11月号のテーマは
大規模停電への対策について

いつもニュースレターをお読みいただき、誠にありがとうございます。
今回は、先日発生しました大規模停電の際、どのような対策が必要か解説いたします。

過去の大規模停電の事例

日時	場所	原因	規模	最大日数
2024年1月	北陸地方	地震	4万戸	1ヶ月
2019年9月	関東地方	台風	93万戸	2週間
2018年9月	関西地方	台風	240万戸	2週間
2018年9月	中部・九州・沖縄	台風	180万戸	1週間
2018年9月	北海道	地震	295万戸	2日間
2016年4月	熊本	地震	47万戸	5日間
2011年3月	東北地方	地震	466万戸	3カ月
2011年3月	関東地方	地震	404万戸	4日間

記憶に新しい能登半島地震では、**約1カ月間停電**になった地域もありました。

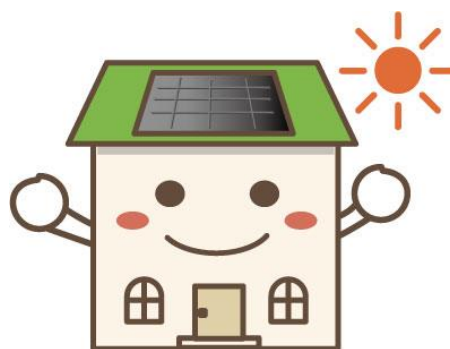
今回四国電力管内の大規模停電は、四国4県で最大36.5万戸が約1時間半停電致しました。

上記資料より、台風や地震での災害時に、大規模停電が起きております。
では、今回のような大規模な停電に対してどのような対策ができるか、考えてみましょう！



自宅でできる停電対策

1. 懐中電灯を置く
2. 蓄光テープを貼る
3. ラジオを用意する
4. 自作ランタンを作る
5. 断水に備える
6. 自家発電機
7. 蓄電池



＜東京電力パワーグリッド【停電対策】家庭でできる備えや対処法とは？ より抜粋＞

1～5は、比較的自宅でも簡単にできる対策だと思います。
6の自家発電機については、発電機や、**太陽光発電**が該当いたします。
7の蓄電池は、据置型やポータブルタイプの**蓄電池**、また自動車を蓄電池として利用する方法（EVやPHEVの電気を自宅で利用する方法：***V2H**等）もあります。

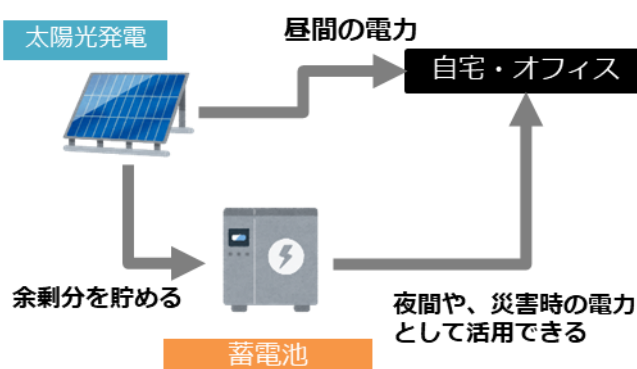
* V2H（Vehicle to Home）機器と呼ばれる「蓄電された電気を家庭用電力へ変換する装置」

停電時、**太陽光発電**があれば、昼間の晴天時には
非常用コンセント（1500W）の電気が利用可能です。

長期間の停電になれば携帯の充電もなくなり、災害の
情報等も取得できません。

また**蓄電池**があれば、エアコンやIH・エコキュートの電気
も含め、**全ての電気の利用可能です**。

《太陽発電と蓄電池導入の場合》



今回四国エリアの大規模停電では、太陽光と蓄電池を導入された方は、自分の家だけが普通に電気が使え、大変役に立ったとのお声をたくさんいただきました。

ご自宅に限らず、事務所や店舗等での蓄電池を導入をされる事業者様も増えてきております。

太陽光・蓄電池の無料見積も承っておりますので、この機会に停電対策をご検討ください。

 **未来環境エネルギー計画** 株式会社

☎088-660-6667

受付時間

9:00～18:00（休業日：土日祝）

住所：〒771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜字川久保87番地1

FAX：088-660-6668

Email：support@mirai-ecoene.com

担当：亀谷

▼徳島で自家消費型太陽光なら未来環境エネルギー計画▼

未来環境エネルギー計画

検索

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

